



そのすがたがうれしい

国際交流 (4)

令和4年(2022年)7月25日 市立札幌開成中等教育学校便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

Summer vacation is coming soon!

アメリカの中学生・高校生はどんな夏休みを過ごしているのでしょうか？ マーラ大谷先生に聞いてみました。

Summertime is always exciting! When I was a junior high school student, my friends and I always looked forward to summer vacation. Summer vacation in the USA is very long, almost 2 months. These two months are the hottest in Southern California. The temperature was 43 degrees Celsius! So, I often spent my time trying to keep cool. I often went swimming in a river with my family. We would have a big barbecue, hang hammocks and set up tents - almost like camping for the day! The river's current was not very strong so it was very safe to swim in. The water was often very cold because it came from the mountains, perfect for the hottest days! I liked to jump from the rocks into the deeper parts of the river. It's some of my best summer memories.

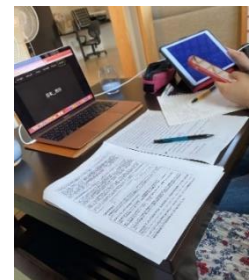
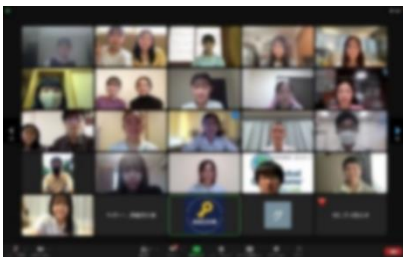


When I was a high school student, I got my driver's license when I was 16. My friends and I would drive to local nature reserves so that we could go hiking. It was very hot, we had to be careful to wear lots of sunscreen. Most people think that Southern California is only a metropolitan area, but we have some wonderful hidden trails in the area. We would hike 5 kilometers on a rocky and dirty path surrounded by trees and shrubs. We could see snakes, lizards, wild rabbits and hawks. The hike would end near a waterfall or small pond. We would jump in the water and walk back to my car. After a hike, we would be so hungry, so we usually drove to a restaurant to eat a big meal to get back our energy! Summertime will always remind me to be active and take advantage of the good weather.



● 3年S・Nさん・T・Rさん 中高生向け「オンラインMOGIMOGI」に参加！

7月3日、Global classroomが主催する模擬国連学習企画「オンラインMOGIMOGI」にて、「安保理改革」をテーマにした、全国の中高生との話し合いに参加しました。模擬国連とは、実際の国連のように学生が各国大使になりきり討論するものです。私たちは「インド大使」として、常任理事国と非常任理事国の議席拡大や拒否権の行使について他国と議論しました。会議の最後に、私たちが所属するグループで考えた「議席配分として、常任理事国をアジア2議席、アフリカ2議席、アジア・東欧・中南米を1議席ずつ拡大する。新常任理事国は条件付きで拒否権の行使を認める」という決議案が可決され、やりがいと達成感を感じ、とても楽しかったです。



他の参加者から学ぶことがとても多く、良い刺激をたくさん受けることができました。国際社会について学ぶためにも、とても良い経験となったため、ぜひ皆さんにもチャレンジしてみしてほしいです！

日本最高峰と言われる「全日本高校模擬国連大会」は毎年11月に開催。今年の申し込みはすでに終了していますが、来年度以降に向けて準備しては？もちろん、この「オンラインMOGIMOGI」にも、レッツトライ！

● スピーチコンテスト・エッセイコンテスト(再掲あり)

- * 第12回上智大学高校生英語弁論大会ジョンニッセル杯 "Coexistence for a Sustainable Future"
提出期限:8/24(水)
- * 高校生東南アジア小論文コンテスト【神田外語大学】
「インドネシア・ベトナム・タイの国についての記事を読み小論文に」
応募〆切 9/9(金)
- * IIBC 高校生英語エッセイコンテスト【国際ビジネスコミュニケーション協会】
「身近な異文化体験～コミュニケーションを通じた響きあい～」
校内〆切 8/30(火)17:00
- * 全英連(高校生)

● 2023年出発交換留学生(現中学3年～申込可能！)

- * 「AFS:C 日程」 9/12～10/3 (オンライン説明会 8/8,19)
・プログラム参加費全額・一部支給の奨学金あり
・海外留学生を受入れるホストファミリーも募集中！
- * 「Ayusa :第二次」 7/1～9/30 に登録。30万円奨学金有。
- * 「AISE アメリカ高校交換留学募集」 指定校助成金、英検準1級等奨励制度等有。
- * その他、交換留学を扱う機関の交換留学案内・ポスターを国際交流コーナーに多数掲載中

●「トビタテ！留学 JAPAN」でイギリスへ行った6年K・Sさんからの報告です

トビタテ留学 JAPAN に応募した時は留学が楽しみで仕方なかったが、留学1ヶ月前になると不安でいっぱいだった。保険加入やパスポート、ワクチン接種証明書など様々な手続きが多く、いっそのこと留学はしなくてもいいんじゃないかというのが本心だった。家族や同じトビタテ生は留学すると人生が変わると話をしてくれたが、正直、英語は受験で使うから日本で勉強すればいいことで、たった3週間では何を学べるのか分からなかった。

いざ飛行機に乗って12時間、トランジット先のドーハハマド国際空港では、すでに満身創痍。機内で寝られなかったとかではなく、聞こえてくるのは全て英語などの外国語で肌の色も違ければ体つきも違って、目や耳から入る新しい情報が多く混乱してしまった。トイレで外国人がぞろぞろと入ってきて、その瞬間に私はなぜか怖くなって走って出ていった。それくらい気を常に張っていたし、まだ慣れなくてなるべく人混みを避けて行動をしていた。自分の英語では全くコミュニケーションを取れなかったが、ジェスチャーを使って自分の乗る飛行機の搭乗時間を聞くとなんと搭乗締切10分前との事。看板を頼りに大急ぎで向かい、なんとか乗ることができた。

ついにロンドン・ヒースロー空港に到着した。なんとターミナル間の移動は徒歩では到底できない距離のようで地下鉄を使うとのこと。地下鉄のドアの開閉り方や音の違いすらも新鮮で何もかもが新しくこの時はワクワクしていた。空港からホームステイ先までのバスの送迎を予約していないため、自分で全て移動する必要があった。事前に National express という大型バスの予約や yellow bus のチケットを購入し Google map を頼りにバスを何回も乗り継ぎ、無事ホームステイ先に到着することができた。この日はもう疲労が溜まりに溜まっていたため夜ご飯も食わずに真っ先に寝た。

翌日、学校に登校するにはバスを使う必要があったが、イギリスのバスはバス停にいても手を挙げないと停車してないことを知らなかった。何度もバスを逃し、初日から1時間の遅刻。自分のクラスは B1 や B2 レベルの授業らしいが、最初に入学テストで度肝を抜かれた。簡単なリスニング問題との事だったが、体感共通テストのリスニング音声の2.5倍はある速度、レベルが違うにも程があるだろうと感じた。何日かの授業で他の留学生の英語の水準が高いと感じた。英語を話せる留学生はとて多く、自分のような上手く話せない留学生は珍しくかなり恥ずかしかった。それもあってか最初の1週間は友達作りが難しかった。

スーパーマーケットではお菓子が散乱していたり、中身が空いていたりかなりショッキングで日本のスーパーと比べると日本のきれいな水準は非常に高いんだと実感した。日本のスーパーであるような食べ物が少し変色していたり、弁当の具材が少し間違っているから返品するようなことがとてもちっぽけに思えてきて、海外のスーパーはたくましいと感じた。やはりイギリスは農業が盛んなこともあって小麦系や乳製品は強いなと思った。スーパーに売っているようなドーナツやバンでも日本のミスタードーナツと五角のクオリティで出してくるし、価格も3個入りで140円と文化の違いを感じる事ができた。ホストファミリーの作る夕食はかなりイギリス感が強く、日本でいう米代わりに毎日山盛りのポテトが主食だった。Fish&chips は産業革命時代に生まれたこともあってか、かなり手軽で簡素な味で日本のだし文化のような物は感じられなく、表面のスパイスで勝負しているような食文化なんだと感じた。

2週間目から自身の英語能力に成長を感じる事ができた。最初の頃はお店に行くとき店員が何を言っているのか分からないため、とにかく「yes」と言っているうちに1人じゃ食べきれないようなドーナツが出てきたりしていたが、この頃から店員が何を言っているのか少し理解できるようになり、SUBWAY のようなカスタマイズ系にも手を出せるようになり始めた。現地でも学べない日常英会話もあって、自身の英語能力の成長が嬉しかった。友達の話している英語も少しずつ聞き取れるようになり、話すことが恥ずかしさから楽しみになった。友達と海や有名な場所に出かけたり、ホストファミリーに日本食をふるまったりと生活に余裕が出てきて充実した1週間を過ごすことができた。余裕も出てきたためか1日1日を詳しく思い出せなくらい慣れ始めた。

3週間目からは Bath というイギリスで有名な温泉や市街地に National rail という汽車を使って観光し、Bath の歴史についてインタビューをしたり動画を撮ったりと「楽しむ」から「文化を学ぶ」にシフトする事が出来た。またコネクションを沢山持つようになって、クラスで同じだった韓国、ハンガリー、ブラジル、同じ家にホームステイしているサウジアラビアだったり色々な人と連絡先を交換した。一緒に海に行ったりご飯を食べたりと、英語を1人で学ぶよりも身近な会話を沢山して、後から「あ！さっきの会話の文法はここが間違っていたのか！」と振り返る事で恥ずかしさもあってよく記憶でき、積極的に話す事が重要なんだと気づく事が出来た。また週末に1人でロンドンに行く予定だったが、同じ語学学校に通っていた卒業生がロンドンで保育士として働いていて、1人ではいけないような場所にもスムーズな案内をして頂いた。この1週間ではイギリスに住みたいとまで思ったし、英語で話す事のコンプレックスが一切なくなった。

この3週間の留学で家族やトビタテ生の言っていた人生が変わるという意味がやっと理解できた。日本でずっと生活していたら感じられないような命のやりとりや理解できなかった海外の良さ、見ず知らずの土地に放り出されても順応できる能力など色々な面で成長し心から楽しいと思えた。前向きになりたい、将来の選択肢を増やしたい、スリル満載のギリギリの経験をしたいという人は必ず留学すべきで、自分自身もどこか吹切れたような部分を感じた。トビタテのような中学高校生から留学できるようなプログラムは絶対応募する価値があると感じたし、私は大学生になったらまたこのようなプログラムに絶対応募するだろう。



● 海外大学進学セミナー・その他セミナー

- *「オーストラリア進学の魅力とグローバル人材の育成」 8/6、18日 online【京進】 <https://bit.ly/3yW9jZw>
- *「アメリカ大学奨学金留学・無料相談会」8/6@かでの27【IYE0】 <https://forms.gle/QbSP6bFKCjUvKsSu7>
- *「中高生及び保護者のためのグローバルセミナー」7/27@かでの27 19:00~20:30【台湾留学サポーターセンター】

● 海外大学進学奨学金 (2023出発)

- *「グローバル・バンク・ロフト基金奨学生」 応募受付 8/15~9/14
【奨学金1:年8万ドル】【奨学金2:年2万道授業料全額免除推薦各大学1名】【奨学金3:授業料一部または全額免除各大学1名】
- *「柳井正財団 海外奨学金」 応募期間 予約型:~8/15, 合格型:12月中旬~2023年2月中旬
【米国:上限 US\$95,000x4年】【英国:上限 £65,000x3年】 学校からの書類もあるので準備は早めに。